

大蔵村個別施設計画

令和 2年 3月



【目次】

第①章 個別施設計画策定について	4
1. 計画の背景と目的.....	4
2. 計画の位置づけ.....	5
3. 計画期間.....	5
4. 対象施設.....	6
5. 用語の定義.....	8
第②章 個別施設の状況と今後の管理方針及び実施計画.....	9
1. 役場庁舎.....	9
2. 役場第2庁舎.....	10
3. 役場第3庁舎.....	11
4. タイヤ保管庫.....	12
5. 車庫.....	12
6. 克雪管理センター.....	13
7. 清水水防倉庫.....	14
8. 消防自動車ポンプ庫.....	15
9. 肘折防災センター.....	15
10. 大蔵村保育所.....	16
11. 大蔵村児童館.....	17
12. 沼の台保育所・沼の台防災センター.....	18
13. 肘折保育所.....	19
14. ふるさと味来館.....	20
15. カルデラ温泉館.....	21
16. 肘折いでゆ館.....	22
17. ノルディック館.....	22
18. 肘折公衆トイレ.....	23
19. 農機具格納庫.....	24
20. 生産物直売所.....	25
21. 湯の台飼料乾燥貯蔵庫.....	26
22. 湯の台資材保管庫.....	26
23. 農産物加工施設.....	27
24. 農産物加工施設原料・調味料倉庫.....	28
25. 肘折温泉バス待合所.....	29
26. 合海団地住宅.....	29
27. 季の里村営住宅1・2号棟.....	30
28. 季の里村営住宅3・4・5・6号棟.....	31
29. 子育て支援住宅A・B棟.....	32
30. 子育て支援住宅C棟.....	33
31. 交流促進住宅.....	34
32. 赤松生涯学習センター.....	35
33. 沼台生涯学習センター.....	36
34. 肘折生涯学習センター.....	37
35. 中央公民館.....	37
36. 南山地区交流センター.....	38
37. 南山交流広場トイレ.....	39
38. 野球場管理棟.....	40
39. 運動公園トイレ.....	41
40. 除雪ステーション.....	41
41. 稲沢渡し資料館.....	42
42. 診療所.....	43
43. 医師住宅1・2号棟.....	44
44. 医師住宅3号棟.....	45

45. 肘折下水処理場（管理棟・処理棟）	46
46. 清水浄化センター	46
47. 清水浄水場	47
48. 清水第2取水場（深井戸）	48
49. 清水第1配水池	49
50. 清水第2配水池	49
51. 白須賀浄水場	50
52. 白須賀配水池（電気室）	51
53. 白須賀計量室	51
54. 升玉浄水場（電気・減菌室）	52
55. 升玉浄水場（新）	53
56. 升玉配水池（電気室）	53
57. 塩送水ポンプ場	54
58. 藤田沢配水池（電気室）	55
59. 肘折浄水場（減菌室）	55
60. 肘折浄水場（新）	56
61. 肘折第2浄水場（薬注室）	57
62. 肘折第2配水池（電気室）	57
63. 肘折第3ポンプ場	58
64. 肘折第4ポンプ場	59
65. 金山加圧ポンプ場	59
66. 金山配水池（電気室）	60
67. 旧柳瀬浄水場	61
68. 柳瀬配水池（電気室）	61
69. 豊牧水源ポンプ場	62
70. 四ヶ村浄水場（高区配水池）	63
71. 旧豊牧浄水場	63

第③章 対策の優先順位の考え方..... 65

1. 優先順位の考え方の概要	65
2. 予防保全対象建築物の選定	65

第④章 公共施設マネジメントに向けた取り組み..... 67

1. 財政側面からのマネジメント	67
2. 取り組み・実施体制	68

第①章 個別施設計画策定について

1. 計画の背景と目的

本村では、昭和 30 年代後半から 50 年代にかけて、時代のニーズに対応するため公共施設等の整備を着実に進めてきました。これら公共施設等は耐用年数を経過したものが多く、今後多くの施設で大規模改修や更新等の経費が膨大になることが見込まれます。

一方、財政面では、生産年齢人口の減少に伴う税収の減少、少子高齢化に伴う義務的経費の増大などにより、今後の村の財政負担は大変厳しい状況が続くことが見込まれます。

国では、公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっており、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、老朽化対策への取り組みを始めました。平成 26 年 4 月には、地方公共団体に対して「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」により、「公共施設等総合管理計画」の策定を要請しています。

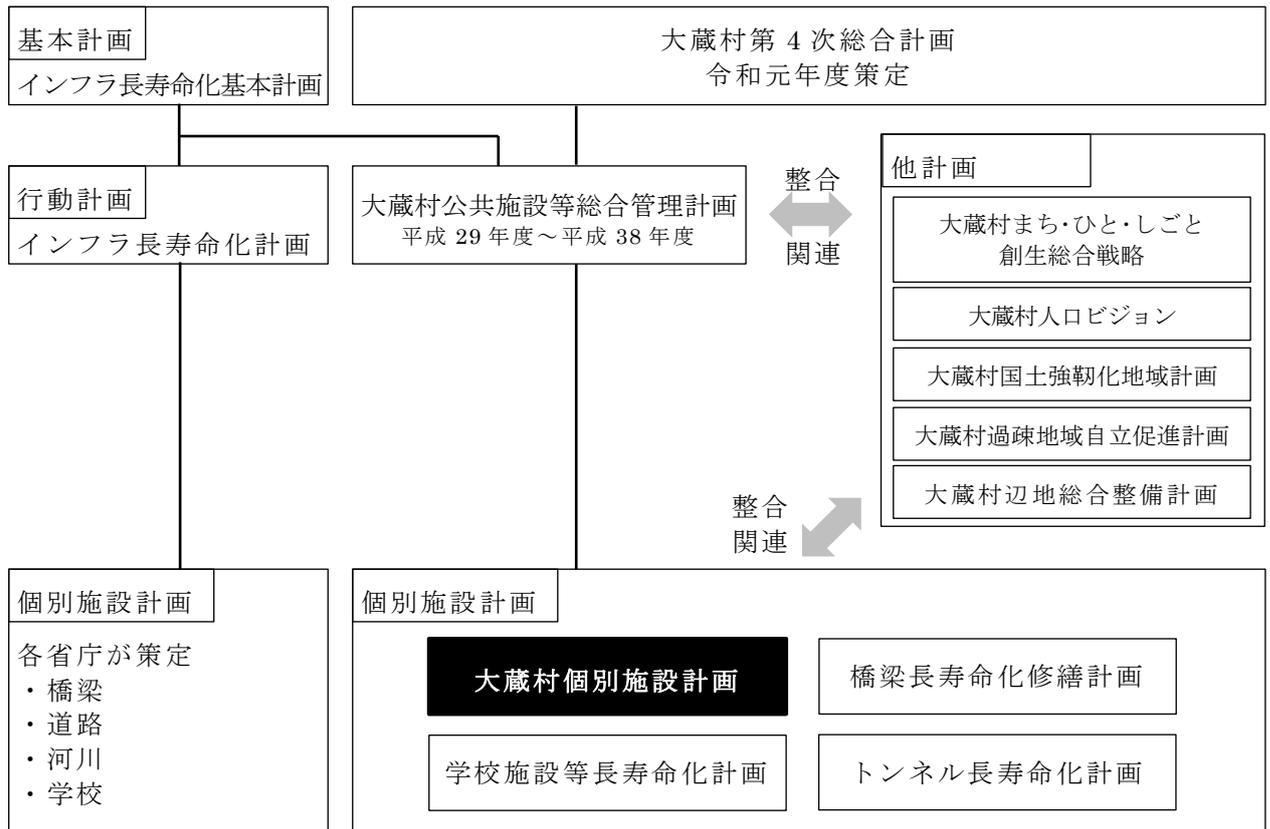
このようなことから、本村では、村が所有する公共施設等の現状と課題を整理し、公共施設のあり方に対する基本方針を定め、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行っていくために、平成 29 年 3 月に「大蔵村公共施設等総合管理計画」を策定しました。

本計画は、「大蔵村公共施設等総合管理計画」に基づき、建築物系施設における個別施設ごとの具体的な対応方針を定めるものとして策定するものです。

2. 計画の位置づけ

本計画は、国のインフラ老朽化対策である「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画として作成した「大蔵村公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月策定）」の下位計画であり、公共施設等の総合的な管理に関する基本方針を実現するため、各施設の今後の方針を定めるものです。

図 1 計画の位置づけ、関連図



3. 計画期間

令和 2 年度から令和 11 年度までの 10 年間を計画期間とし、今後の取組み状況の進捗や社会情勢の変化などに応じ適宜見直しを行います。

4. 対象施設

本計画は、村が所有する公共施設のうち「建物」を対象施設として今後の方針を定めるものとします（全 71 施設）。

施設名	延床面積 (㎡)	構造 (代表)	建築 年度	施設類型(中)
役場庁舎	1,653	RC造	S37	庁舎等
役場第2庁舎	403	S造	S45	庁舎等
役場第3庁舎	227	RC造	S48	庁舎等
タイヤ保管庫	9	木造	不明	庁舎等
車庫	43	S造	S52	庁舎等
克雪管理センター	486	RC造	S47	庁舎等
清水水防倉庫	33	木造	不明	消防施設
消防自動車ポンプ庫	26	木造	不明	消防施設
肘折防災センター	487	RC+S造	R1	消防施設
大蔵村保育所	865	SRC造	S58	児童福祉施設
大蔵村児童館	297	SRC造	S59	児童福祉施設
沼の台保育所・沼の台防災センター	482	S造	H25	児童福祉施設
肘折保育所	363	SRC造	S60	児童福祉施設
ふるさと味来館	1,299	S造	H8	産業系施設
カルデラ温泉館	473	木造	H5	産業系施設
肘折いでゆ館	2,590	RC造	H9	産業系施設
ノルディック館	457	S造	H4	産業系施設
肘折公衆トイレ	6	木造	H20	その他
農機具格納庫	162	S造	S39	産業系施設
生産物直売所	242	木造	S57	産業系施設
湯の台飼料乾燥貯蔵庫	265	S造	H8	産業系施設
湯の台資材保管庫	166	S造	S56	産業系施設
農産物加工施設	876	S造	H29	産業系施設
農産物加工施設原料・調味料倉庫	86	木造	H29	産業系施設
肘折温泉バス待合所	9	木造	H20	産業系施設
合海団地住宅	695	木造	H1	村営住宅
季の里村営住宅1・2号棟	280	木造	H13	村営住宅
季の里村営住宅3・4・5・6号棟	581	木造	H19	村営住宅
子育て支援住宅A・B棟	944	木造	H24	村営住宅
子育て支援住宅C棟	472	木造	H27	村営住宅
交流促進住宅	158	木造	H4	村営住宅
赤松生涯学習センター	2,990	RC造	H12	その他教育系施設

沼台生涯学習センター	785	RC造	S51	その他教育系施設
肘折生涯学習センター	865	RC造	S53	その他教育系施設
中央公民館	2,284	SRC造	S54	集会施設
南山地区交流センター	284	木造	H21	その他教育系施設
南山交流広場トイレ	2	木造モルタル	H24	その他教育系施設
野球場管理棟	69	RC造	S62	体育施設
運動公園トイレ	15	RC造	S61	体育施設
除雪ステーション	410	S造	H9	その他
稲沢渡し資料館	49	木造	H8	その他
診療所	1,036	RC造	H3	病院施設
医師住宅1・2号棟	235	木造	H3	病院施設
医師住宅3号棟	254	木造	H10	病院施設
肘折下水処理場(管理棟・処理棟)	828	SRC造	S58	公共下水道
清水浄化センター	659	RC造	H16	公共下水道
清水浄水場	204	S造	H11	簡易水道
清水第2取水場(深井戸)	5	RC造	H11	簡易水道
清水第1配水池	3	RC造	S48	簡易水道
清水第2配水池	13	RC造	H11	簡易水道
白須賀浄水場	23	RC造	S49	簡易水道
白須賀配水池(電気室)	4	RC造	S49	簡易水道
白須賀計量室	1	RC造	S49	簡易水道
升玉浄水場(電気・減菌室)	30	RC造	S61	簡易水道
升玉浄水場(新)	33	RC造	H25	簡易水道
升玉配水池(電気室)	5	RC造	S61	簡易水道
塩送水ポンプ場	25	RC造	S61	簡易水道
藤田沢配水池(電気室)	5	RC造	S62	簡易水道
肘折浄水場(減菌室)	8	RC造	S63	簡易水道
肘折浄水場(新)	115	S造	R2	簡易水道
肘折第2浄水場(薬注室)	17	RC造	S58	簡易水道
肘折第2配水池(電気室)	6	RC造	S58	簡易水道
肘折第3ポンプ場	14	RC造	S44	簡易水道
肘折第4ポンプ場	12	RC造	S51	簡易水道
金山加圧ポンプ場	18	RC造	H6	簡易水道
金山配水池(電気室)	7	RC造	H6	簡易水道
旧柳渚浄水場	5	RC造	S51	簡易水道
柳渚配水池(電気室)	2	RC造	S51	簡易水道
豊牧水源ポンプ場	16	RC造	S60	簡易水道
四ヶ村浄水場(高区配水池)	104	S造	H16	簡易水道
旧豊牧浄水場	34	S造	S60	簡易水道

5. 用語の定義

長寿命化		建物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を延ばすこと。
保全		建物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保、保持し続けること。保全のための手段として点検・診断、改修等がある。
	予防保全	損傷が軽微である早期段階から機能・性能の保持・回復を図るために修繕等を行う、予防的な保全のこと。なお、あらかじめ周期を決めて計画的に修繕等を行う保全のことを「計画保全」という。
	事後保全	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全のこと。
維持管理		建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けるため、建物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて建物の改修や設備の更新を行うこと。なお、日常的に行われる点検や修繕等のことを本計画では「日常的な維持管理」という。
更新		既存の建物や設備を新しく改めること。建物の場合は「改築」と同義と捉えてよい。
	改築	老朽化により構造上危険な状態にあったり、著しく不適当な状態にあたりする既存の建物を「建替える」こと。
改修		経年劣化した建物の部分又は全体の原状回復を図る工事や、建物の機能・性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。
	修繕	経年劣化した建物の部分を、既存のものと概ね同じ位置に概ね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること。
	改修	長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、機能や性能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと。

第②章 個別施設の状況と今後の管理方針及び実施計画

1. 役場庁舎

所在地	大蔵村大字清水 2528						
所管課	総務課						
施設類型	庁舎等						
延床面積 (㎡)	1,653	構造	RC造	建築年 (年度)	S37	耐用年数 (年)	50

施設の現状

- ・東側庁舎については、昭和37年に建築、建築から57年が経過し施設の老朽化が進んでいます。東側庁舎は、昭和58年度に現在の位置に曳き移転され、昭和59年度に西側庁舎を増築して現在の庁舎の形となりました。
- ・内壁および外壁にはひび割れが見られる箇所があります。
- ・東側庁舎の施設の一部では建物に傾きが見受けられます。
- ・施設の老朽化により改修・修繕を必要とする箇所が多くありますが、緊急な箇所を優先して実施している状況です。
- ・衛生設備、機械設備についても老朽化が進んでおり、漏水や機器の故障が度々発生しています。
- ・高圧電気設備については、機器が老朽化しているため、現在計画的に機器を更新しています。

施設の課題

- ・東側庁舎については、旧耐震基準下で建築されたため、耐震補強や建て替えなどの検討が必要です。
- ・庁舎所在地は、最上川の洪水浸水想定区域となっており、有事の際には庁舎機能の継続が困難となる恐れがあります。
- ・東側庁舎は、切妻屋根となっており、駐車場の一部に落雪するため、冬季間は駐車場が非常に狭くなっています。また、落雪する場所に非常口があり、非常通路を確保するため、人力による除雪作業が必要となっています。
- ・庁舎は集中暖房方式としていますが、設備が古いため暖房効率が非常に悪く、別に暖房機器を設置しており、燃料代の負担が大きくなっています。
- ・収納スペースが非常に狭い状況です。

今後10年間の管理に関する基本方針

- ・耐震化又は建て替えを含めた庁舎のあり方を検討していく必要があり、それまでの間は日常の保全及び定期点検や診断などにより、庁舎の安全性確保や

施設機能の維持に努めます。

- ・建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
				国庫 支出金	地方債	一般 財源
R2	計器用変圧器更新工事	高圧機器の更新	300			300
R3	屋根塗装工事	屋根塗装	3,000			3,000
R3	屋外高圧負荷開閉器更新工事	高圧機器の更新	600			600
R4	高圧変圧器（電灯）更新工事	高圧機器の更新	1,000			1,000
R5	高圧ケーブル更新工事	高圧機器の更新	1,500			1,500
R6	高圧変圧器（動力）更新工事	高圧機器の更新	1,000			1,000

2. 役場第 2 庁舎

所在地	大蔵村大字清水 2528						
所管課	総務課						
施設類型	庁舎等						
延床面積 (m ²)	403	構造	S 造	建築年 (年度)	S45	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・建築からおよそ 50 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・施設と同様に、衛生設備も老朽化が進んでいます。

施設の課題

- ・施設の老朽化により改修、修繕を必要とする箇所が多くありますが、緊急な箇所を優先して実施している状況です。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・本施設は、1 階が公用車の車庫となっているため、役場庁舎と一体として施設の存続を考慮する必要があります。
- ・日常の維持管理などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

3. 役場第 3 庁舎

所在地	大蔵村大字清水 2309-4						
所管課	総務課						
施設類型	庁舎等						
延床面積（㎡）	227	構造	RC 造	建築年（年度）	S48	耐用年数（年）	50

施設の現状

- ・昭和 48 年に最上広域市町村圏事務組合大蔵消防分署とし建築され、施設が移転することに伴い、平成 22 年に村に譲渡されました。
- ・建築から 45 年以上が経過し、施設は老朽化しています。
- ・現在は、1 階が村営バスの待合所及び車庫、2 階が事務室となっています。

施設の課題

- ・衛生設備は老朽化が進み、度々漏水などが発生しています。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・本施設は、1 階が車庫となっており公用車を格納しているため、役場庁舎と一体として施設の存続を考慮する必要があります。
- ・日常の維持管理などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

4. タイヤ保管庫

所在地	大蔵村大字清水 2309-4						
所管課	総務課						
施設類型	庁舎等						
延床面積 (㎡)	9	構造	木造	建築年 (年度)	不明	耐用年数 (年)	15

施設の現状

- ・最上広域市町村圏事務組合大蔵消防分署敷地内に保管庫として建築され、消防分署が移転することに伴い、平成 22 年に村に譲渡されました。
- ・現在は、自動車のタイヤ等の保管庫として利用しています。

施設の課題

- ・特にありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・本施設は、公用車のタイヤ等の保管庫となっており、役場庁舎と一体として施設の存続を考慮する必要があります。
- ・日常の維持管理などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

5. 車庫

所在地	大蔵村大字清水 2528						
所管課	総務課						
施設類型	庁舎等						
延床面積 (㎡)	43	構造	S 造	建築年 (年度)	S52	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・建築から 40 年以上が経過し、老朽化しており、平成 29 年度に屋根と外壁の修繕工事を実施し、施設の長寿命化を図りました。

施設の課題

- ・冬季間においては、屋根の傾斜がなく、雪が自然落下しないことから、雪により軒先が壊れる恐れがあるため、雪下ろしが必要です。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・本施設は、公用車の車庫となっており、役場庁舎と一体として施設の存続を考慮する必要があります。
- ・日常の維持管理などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

6. 克雪管理センター

所在地	大蔵村大字南山 1497						
所管課	総務課						
施設類型	庁舎等						
延床面積 (㎡)	486	構造	RC 造	建築年 (年度)	S47	耐用年数 (年)	50

施設の現状

- ・建築から 40 年以上が経過し、施設は老朽化しています。
- ・平成 24 年度までは沼の台保育所としての機能を有していましたが、沼の台保育所が別の場所に建築されて以降は特に利用していない状況です。

施設の課題

- ・今後の利用を見込んでいないことから、施設の修繕等を行っていないものの、外壁等の老朽化が進んだ場合の対応が課題となっています。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・本施設については、老朽化していることもあり、今後利用する見込みもないため、取り壊しを実施する予定です。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	解体工事	施設の解体	15,000			15,000

7. 清水水防倉庫

所在地	大蔵村大字清水 2556						
所管課	危機管理室						
施設類型	消防施設						
延床面積 (㎡)	33	構造	木造	建築年 (年度)	不明	耐用年数 (年)	22

施設の現状

- ・ 建築年が不明で、木造建築であるため、かなり老朽化が進んでいます。

施設の課題

- ・ 消防、水防等の倉庫として活用していますが、格納スペースが少なく、役場庁舎から離れています。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 修繕等をしながら維持していく予定です。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

8. 消防自動車ポンプ庫

所在地	大蔵村大字清水 2525-3						
所管課	危機管理室						
施設類型	消防施設						
延床面積 (㎡)	26	構造	木造	建築年 (年度)	不明	耐用年数 (年)	22

施設の現状

- ・普通積載車を格納しています。
- ・建築年が不明で、木造建築であるため、かなり老朽化が進んでいます。

施設の課題

- ・老朽化が進んでおり、耐震対策等が不十分です。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・修繕等をしながら維持していく予定です。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

9. 肘折防災センター

所在地	大蔵村大字南山 2126-213						
所管課	危機管理室						
施設類型	消防施設						
延床面積 (㎡)	487	構造	RC+S 造	建築年 (年度)	R1	耐用年数 (年)	47

施設の現状

- ・本年（令和元年）度、肘折地区の防災拠点施設として完成しました。

施設の課題

- ・現状ではありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・定期的に非常用毛布等の補充、消費期限ごとの非常食、飲料水等の補充をしながら、肘折地区の防災施設の中心として維持管理を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

10. 大蔵村保育所

所在地	大蔵村大字清水 1457-2						
所管課	健康福祉課						
施設類型	児童福祉施設						
延床面積（㎡）	865	構造	SRC 造	建築年（年度）	S58	耐用年数（年）	50

施設の現状

- ・建築から 36 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。内壁および外壁にはひび割れや塗装はがれなどが見られ、躯体への影響が懸念されます。
- ・施設の老朽化により改修、修繕を必要とする箇所が多くあり、緊急を要する箇所を優先して実施している状況です。
- ・給排水や給油等の配管等の設備は、更新されていないため、不意に故障することがあり対応に苦慮しています。また、震災時の漏水等が懸念される状況です。
- ・修繕や更新に伴い、維持管理に係るコストは年々増加している状況です。
- ・入所児は年々減少傾向です。

施設の課題

- ・熱中症対策として空調設備の設置が必要と考えられます。
- ・施設利用児の送迎車や食材運搬車、職員の駐車スペースが無く、やむなく野外運動場を利用しているため、管理上支障をきたしています。
- ・保護者からは「保育所までの進入路が急坂で狭いため、危ない」という声が多く寄せられています。
- ・建築当時は 3 歳児からの入所となっていたことから、現施設は乳児の対応に苦慮しています。

- ・支援を要する園児が増え、設備等の改修が必要となっています。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・園児を預かる施設として日常の保全及び定期点検などにより、安全確保や施設機能の維持に努めます。
- ・建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	外壁改修事業	外壁塗装	15,000			15,000
R3 以降	空調設備設置事業	エアコン設置	6,000			6,000

1 1. 大蔵村児童館

所在地	大蔵村大字清水 1456-2						
所管課	健康福祉課						
施設類型	児童福祉施設						
延床面積 (㎡)	297	構造	SRC 造	建築年 (年度)	S59	耐用年数 (年)	50

施設の現状

- ・大蔵村保育所同様、建築から 35 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。内壁および外壁にはひび割れや塗装はがれなどが見られ、躯体への影響が懸念されます。
- ・施設の老朽化により改修・修繕を必要とする箇所が多くあり、緊急を要する箇所を優先して実施している状況です。
- ・給排水や給油等の配管等の設備は、定期的に更新されていないため、不意に故障することがあり対応に苦慮しています。また、震災時の漏水等が懸念される状況です。
- ・修繕や更新に伴い、維持管理に係るコストは年々増加している状況です。

施設の課題

- ・熱中症対策として空調設備の設置が必要と考えられます。
- ・施設利用児の送迎車や食材運搬車、職員の駐車スペースが無く、やむなく野外運動場を利用しているため、管理上支障をきたしています。

- ・保護者からは「保育所までの進入路が急坂で狭いため、危ない」という声が多く寄せられています。
- ・建築当時は3歳児からの入所となっていたことから、現施設は乳児の対応に苦慮しています。
- ・支援を要する園児が増え、設備等の改修が必要です。
- ・保育所と棟続きですが通路が一箇所であり利便性に欠けています。

今後10年間の管理に関する基本方針

- ・園児を預かる施設として日常の保全及び定期点検などにより、安全確保や施設機能の維持に努めます。
- ・建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後10年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

12. 沼の台保育所・沼の台防災センター

所在地	大蔵村大字南山 1447-1						
所管課	健康福祉課						
施設類型	児童福祉施設						
延床面積（㎡）	482	構造	S造	建築年（年度）	H25	耐用年数（年）	50

施設の現状

- ・建築から数年しか経過しておらず、施設の状態は良好です。

施設の課題

- ・現在、休所となっていますが、維持管理費用（特に電気料）として相応の負担が発生しています。

今後10年間の管理に関する基本方針

- ・利用者を確認し、日常の保全及び定期点検や診断などにより、施設の安全性確保や施設機能の維持に努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R5	外壁塗装事業	塗装工事	5,000			5,000

13. 肘折保育所

所在地	大蔵村大字南山 3405-5						
所管課	健康福祉課						
施設類型	児童福祉施設						
延床面積 (㎡)	363	構造	SRC 造	建築年 (年度)	S60	耐用年数 (年)	50

施設の現状

- ・ 建築から 34 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・ 施設の老朽化により改修・修繕を必要とする箇所が多くあり、緊急を要する箇所を優先して実施している状況です。
- ・ 給排水や給油等の配管等の設備は更新されていないため、不意に故障することがあり対応に苦慮しています。また、震災時の漏水等が懸念される状況です。
- ・ 設備の修繕や更新に伴い、維持管理に係るコストは年々増加している状況です。

施設の課題

- ・ 熱中症対策として空調設備の設置が必要と考えられます。
- ・ 耐震基準は満たしているが山腹に建築されているため、近接する山腹の崩壊が懸念されます（急傾斜地警戒区域）。
- ・ 県道から保育所前広場と旅館組合駐車場までの進入路が急坂で狭隘なため、危ないという声が多く寄せられています。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 園児を預かる施設として日常の保全及び定期点検などにより、安全確保や施設機能の維持に努めます。
- ・ 少人数ながら地域性を保ちつつ、地域の保育所として維持管理業務の効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	空調設備設置事業	エアコン設置	3,000			3,000

14. ふるさと味来館

所在地	大蔵村大字南山 967-9						
所管課	産業振興課						
施設類型	産業系施設						
延床面積 (㎡)	1,299	構造	S 造	建築年 (年度)	H8	耐用年数 (年)	34

施設の現状

- ・ 建築から 20 年以上が経過する施設で老朽化が進んでいます。空調等の設備も 20 年を超えるものがあり修繕を行っています。
- ・ 施設の老朽化により改修・修繕が必要な箇所が多くありますが、緊急な箇所を優先して実施している状況です。
- ・ 平成 30 年度の利用者数は 8,384 人でした。

施設の課題

- ・ 「沼の台・豊牧・平林・滝ノ沢」の 4 集落の核となる施設であり、避難所や観光施設としての機能も有しているため、効率的な改善・修繕が必要となっています。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 定期点検や日常の保全に努め、安全確保や施設機能の維持に努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	空調設備改修工事	エアコン等の改修	850			850
R3 以降	屋根塗装工事	屋根の塗装	5,000			5,000

15. カルデラ温泉館

所在地	大蔵村大字南山 2127-79						
所管課	産業振興課						
施設類型	産業系施設						
延床面積 (㎡)	473	構造	木造	建築年 (年度)	H5	耐用年数 (年)	12

施設の現状

- ・ 建築から 25 年以上が経過する施設で老朽化が進んでいます。豪雪地帯でもあるため雪害の影響も出ています。
- ・ 施設の老朽化により改修・修繕が必要な箇所が多くありますが、緊急な箇所を優先に実施している状況です。
- ・ 平成 30 年度の利用者数は 15,626 人でした。

施設の課題

- ・ 村内観光施設のひとつであり、温泉客が多く来館する施設ですが、施設の老朽化により改修・修繕が必要な箇所が多くあります。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 本村の観光の核となる施設であるため、来館者の利便性を考えながら、施設機能の維持に努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R2	カルデラ温泉浴槽柱腐食度調査業務委託	浴槽柱の腐食度調査	1,450			1,450
R2	ウォシュレット切替工事	洋式トイレのウォシュレット化	200			200
R3以降	屋根塗装工事	屋根の塗装	5,000			5,000

16. 肘折いでゆ館

所在地	大蔵村大字南山 451-2						
所管課	産業振興課						
施設類型	産業系施設						
延床面積 (㎡)	2,590	構造	RC造	建築年 (年度)	H9	耐用年数 (年)	31

施設の現状

- ・ 建築から 20 年以上が経過する施設で老朽化が進んでいます。豪雪地帯でもあるため雪害の影響も出ています。
- ・ 施設の老朽化により改修・修繕が必要な箇所が多くありますが、緊急な箇所を優先に実施している状況です。
- ・ 平成 30 年度の利用者数は 18,971 人でした。

施設の課題

- ・ 肘折温泉郷の観光の核となる施設ですが、施設の老朽化により改修・修繕が必要な箇所が多くあります。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 本村の観光の核となる施設であるため、来館者の利便性を考えながら、施設機能の維持に努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R2	ウォシュレット切替工事	洋式トイレのウォシュレット化	900			900
R3以降	屋根塗装工事	屋根の塗装	12,000			12,000

17. ノルディック館

所在地	大蔵村大字南山 4096-1						
所管課	産業振興課						
施設類型	産業系施設						
延床面積 (㎡)	457	構造	S造	建築年 (年度)	H4	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から 25 年以上が経過する施設で老朽化が進んでいます。豪雪地帯でもあるため雪害の影響も出ています。
- ・ 施設の老朽化により改修・修繕が必要な箇所が多くありますが、緊急な箇所を優先に実施している状況です。
- ・ 平成 30 年度の利用者数は 2,316 人でした。

施設の課題

- ・ 競技スキーの方々を中心に来館者が利用しやすいように、改修を効率的に行って利便性を図っていきます。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 来館者の利便性を考えながら、施設機能の維持に努めます。
- ・ 肘折温泉郷の核となる施設のため、効率的に施設の維持に努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	ストーブ修繕	ストーブの修繕	350			350
R3 以降	屋根塗装工事	屋根の塗装	4,000			4,000

18. 肘折公衆トイレ

所在地	大蔵村大字南山 527-2						
所管課	産業振興課						
施設類型	その他						
延床面積（㎡）	6	構造	木造	建築年（年度）	H20	耐用年数（年）	15

施設の現状

- ・ 観光地でもある肘折温泉の唯一の公衆トイレで利用者が多い現状です。

施設の課題

- ・ 現状を維持し活用していきます。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・観光地にトイレは必須なため、問題が発見された場合には直ちに修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

19. 農機具格納庫

所在地	大蔵村大字清水 4770						
所管課	産業振興課						
施設類型	産業系施設						
延床面積（㎡）	162	構造	S 造	建築年（年度）	S39	耐用年数（年）	38

施設の現状と課題

- ・村の業務で使用するスノーポール等の資材、備品の保管に活用されています。
- ・建築後 55 年が経過し、施設全体の老朽化が進んでいますが、大きな損傷箇所はありません。
- ・平成 30 年度に老朽化により屋根の修繕を実施しました。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検などにより、施設の安全確保や機能維持に努めます。
- ・建物の維持管理業務について効率化を図ります。
- ・必要に応じて、部分的な修繕を実施していきます。
- ・建物はかなり老朽化しているため、現在保管している資材等の保管場所を確保できた場合、施設の存続について検討していきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

20. 生産物直売所

所在地	大蔵村大字南山 4241-1						
所管課	産業振興課						
施設類型	産業系施設						
延床面積 (㎡)	242	構造	木造	建築年 (年度)	S57	耐用年数 (年)	24

施設の現状と課題

- ・建設から 37 年が経過し施設の老朽化が進んでおり、屋根や外壁には塗装のはく離や破損が目立っています。
- ・建物敷地内にある駐車場も舗装の破損が見られます。
- ・現在施設内の使用はほとんど無い状況が続いていますが、毎年 6 月から 10 月までの週末のみ、村特産加工組合が建物 1 階にある空きスペースを産地直売所として活用しています。

(平成 30 年度 出店回数：33 回 出店数：90 人 来客数：1,483 人)

(平成 29 年度 出店回数：34 回 出店数：94 人 来客数：1,977 人)

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・施設の老朽化が進んでおり、現状の施設形態では今後の利用は困難になると思われます。そのため、現状施設を解体したうえで、トイレ休憩が可能なパーキングエリアとして再整備することを計画しています。
- ・地元生産者が活用できるような簡単な直売施設の整備もあわせて検討しています。
- ・良好な景観が広がり、本村の観光地である肘折温泉郷の玄関口でもあるため地域の活性化を図るための施設として整備・管理を進めていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳 (千円)		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	解体工事	施設の解体	20,000		20,000	

2 1. 湯の台飼料乾燥貯蔵庫

所在地	大蔵村大字南山 4243-4						
所管課	産業振興課						
施設類型	産業系施設						
延床面積 (㎡)	265	構造	S 造	建築年 (年度)	H8	耐用年数 (年)	31

施設の現状と課題

- ・ 建築から 23 年が経過しており、施設の老朽化が進んでいます。屋根の一部に破損が見られます。
- ・ 現在ほとんど活用されていません。
- ・ 近年改修や修繕等は行っておらず、維持管理コストは特に発生していません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 日常の保全及び定期点検などにより、施設の安全確保や機能維持に努めます。
- ・ 建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

2 2. 湯の台資材保管庫

所在地	大蔵村大字南山 4243-1						
所管課	産業振興課						
施設類型	産業系施設						
延床面積 (㎡)	166	構造	S 造	建築年 (年度)	S56	耐用年数 (年)	31

施設の現状と課題

- ・ 建築から 38 年が経過しており、施設全体の老朽化が進んでいます。屋根と外壁の一部に破損が見られます。
- ・ 放牧場の休止に伴い、施設の利用はほとんどありません。
- ・ 近年改修や修繕等は行っておらず、維持管理コストは特に発生していません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・今後も利用が見込めないことから解体を予定しています。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	解体工事	施設の解体	5,000			5,000

23. 農産物加工施設

所在地	大蔵村大字合海 1391-11						
所管課	産業振興課						
施設類型	産業系施設						
延床面積（㎡）	876	構造	S 造	建築年（年度）	H29	耐用年数（年）	31

施設の現状と課題

- ・平成 30 年から令和 4 年度末までの 5 年間について、(株)三和食品に貸し出し、大蔵工場として操業することになっています。
- ・まだ建築して 2 年しか経っていないため、施設の大きな損傷や問題点はありません。
- ・平成 30 年度の施設利用者は、従業員や毎日出入りする業者等を合わせると延べ 7,000 人でした。
- ・施設整備に合わせて掘削された井戸の水量が当初想定よりも少ないため状況を確認しながら操業しているところです。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・施設の賃貸借契約を結ぶ相手方と連携し、日常の保全及び定期点検などにより、施設の安全確保や機能維持に努めます。
- ・建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源

	現状は予定なし					
--	---------	--	--	--	--	--

24. 農産物加工施設原料・調味料倉庫

所在地	大蔵村大字合海 1391-11						
所管課	産業振興課						
施設類型	産業系施設						
延床面積 (㎡)	86	構造	木造	建築年 (年度)	H29	耐用年数 (年)	15

施設の現状と課題

- ・平成30年から令和4年度末までの5年間、㈱三和食品と賃貸借契約を締結し、原料・調味料倉庫として操業しています。
- ・まだ建築して2年しか経っていないため、施設の大きな損傷や問題点はありません。

今後10年間の管理に関する基本方針

- ・施設の賃貸借契約を結ぶ相手方と連携し、日常の保全及び定期点検などにより、施設の安全確保や機能維持に努めます。
- ・建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後10年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

25. 肘折温泉バス待合所

所在地	大蔵村大字南山 527-2, 527-3						
所管課	総務課						
施設類型	産業系施設						
延床面積 (㎡)	9	構造	木造	建築年 (年度)	H20	耐用年数 (年)	15

施設の現状

- ・施設そのものは、現状、修繕等の必要はありません。バス利用者の待合所だけでなく、バス運転手の待機所としても活用しています。そのため、水道・電気設備を備えています。
- ・人口は減少しているものの、観光客のバス利用者は増加しています。

施設の課題

- ・豪雪地帯にあるため、日常点検及び利用者・地域住民との情報共有に努め、適切な維持管理が必要です。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・村営バスの利用を促進するため、施設の点検を計画的に実施し、長寿命化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R5 以降	屋根塗装工事	屋根塗装	200			200

26. 合海団地住宅

所在地	大蔵村大字合海 130-1						
所管課	地域整備課						
施設類型	村営住宅						
延床面積 (㎡)	695	構造	木造	建築年 (年度)	H1	耐用年数 (年)	22

施設の現状

- ・建築から 30 年以上が経過しているため住宅の老朽化が進んでいます。玄関

先の軒天や給排水設備の老朽化に伴う水漏れ、浴室の壁のひび割れ及び天井からの雨漏れ、車庫の扉のレール部分の歪みやへこみも確認できます。

- ・入居者からの修繕に関する要望が多く、村負担で修繕する箇所は対応してきました。しかし、毎年のように修繕依頼の連絡があります。
- ・入居募集を行うと 2～3 世帯程度の申請があり、今後も村営住宅の必要性があると考えられます。

施設の課題

- ・修繕する箇所を把握し、対応していかなければなりません。
- ・長寿命化工事の検討を行い、実施していかなければなりません。しかし、長寿命化工事期間中は借家等の政策空家が必要になります。
- ・高齢の入居者が多くなっていますので、バリアフリー対策が必要です。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・入居者からの修繕依頼があった箇所については、引き続き修繕を行います。
- ・建築から 30 年以上が経過していることもあり、長寿命化工事も視野に入れ、検討し、実施するように努めています。
- ・日常の保全などを通して、住宅の安全性確保の維持に努めます。
- ・定期的な点検、調査、補修に努めていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R2	屋根塗装工事	屋根の塗装	1,800			1,800
R3 以降	排水管等修繕工事	交換・水漏れ対策	500			500
R3 以降	内装修繕工事	内装修繕	500			500
R3 以降	長寿命化工事	建物の長寿命化工事	15,000			15,000
R3 以降	屋根塗装工事	屋根の塗装	13,000			13,000

27. 季の里村営住宅 1・2 号棟

所在地	1 号棟：大蔵村大字清水 3427 番地の 3 2 号棟：大蔵村大字清水 3427 番地の 4						
所管課	地域整備課						
施設類型	村営住宅						
延床面積（㎡）	280	構造	木造	建築年（年度）	H13	耐用年数（年）	22

施設の現状

- ・ 建築されて 20 年近くになりますが、トイレの水漏れや電気設備の修繕依頼があります。また、屋根からの落雪により外壁に取り付けられているガス管破損に伴う修繕もあります。
- ・ 入居募集を行うと受付開始前から問い合わせがあり、受付が始まると 2～3 世帯程度の申請があります。

施設の課題

- ・ 大規模な修繕をする必要はないと考えますが、屋根からの落雪については、村のみならず入居者自身で雪捨てなどを行い、配管や外壁の破損を未然に防ぐという取組みも必要と考えます。
- ・ 大規模な修繕が必要ではないと考えますが、今後は建物の年数が経過することに伴い、長寿命化工事の検討が必要になります。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 建築から 20 年近く経っていることから、日常の保全などを通して、住宅の安全性確保の維持に努めます。また、そのためにも除雪作業など入居者自身に行ってもらわなければならないことについての指導（口頭や文書等による周知）にも努めます。
- ・ 定期的な点検、調査、補修に努めていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	点検業務委託	建物や設備の点検	500			500

28. 季の里村営住宅 3・4・5・6 号棟

所在地	大蔵村大字清水 3427 番地の 3						
所管課	地域整備課						
施設類型	村営住宅						
延床面積 (㎡)	581	構造	木造	建築年 (年度)	H19	耐用年数 (年)	22

施設の現状

- ・ 1、2 号棟よりも後に建築された住宅ということもあり、修繕に関する要望は

少ないです。しかし、屋根からの落雪による外壁の破損や配管の損傷があり、その都度修繕しているのが現状です。

- ・入居募集を行うと、申請についての問い合わせや受付が始まると 2～3 世帯程度の申請がありますので、今後も村営住宅の必要性があります。

施設の課題

- ・他の住宅よりも比較的新しい住宅ということもあり、大規模な修繕が必要ではないと考えますが、今後は建物の年数が経過することに伴い、長寿命化工事の検討が必要になります。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全を通して、今後も安全性の確保や施設機能の維持に努めます。
- ・今後、想定される電気、機械設備の修繕にも適切に対応していくことに努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	点検業務委託	建物や設備の点検	500			500

29. 子育て支援住宅 A・B 棟

所在地	大蔵村大字清水 2850-1						
所管課	地域整備課						
施設類型	村営住宅						
延床面積 (㎡)	944	構造	木造	建築年 (年度)	H24	耐用年数 (年)	22

施設の現状

- ・屋根からの落雪が原因と思われる外壁の破損があり、また、軒天が剥がれてしまうという事態も発生し、修繕を行いました。
- ・エコキュートの室外機から水漏れがあり、修繕を行いました。
- ・比較的新しく建築された建物ではありますが、軽微な修繕をその都度行っています。
- ・入居者はほとんどが村内の方ですが、村ホームページで公開したこともあり、村外から入居される方もいます。

施設の課題

- ・屋根からの落雪による外壁破損が目立つため、適切な除雪作業を入居者から行ってもらう必要があります。
- ・機械設備の修繕が確認されていることから、必要に応じて適切な対応を行わなければなりません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・建築、電気、機械設備といった部位別の修繕が発生した場合に適切な対応を行うように努めます。
- ・建物の設備等の機能を維持のために必要となる点検・調査、必要に応じて補修を行うように努めます。
- ・除雪作業など入居者自身に行ってもらわなければならないことについての指導や要請（口頭や文書等による周知）に努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3以降	外壁修繕工事	主に裏面の外壁修繕	500			500

30. 子育て支援住宅 C 棟

所在地	大蔵村大字清水 2850-1						
所管課	地域整備課						
施設類型	村営住宅						
延床面積 (㎡)	472	構造	木造	建築年 (年度)	H27	耐用年数 (年)	22

施設の現状

- ・屋根からの落雪による外壁の破損がありました。そのため、平成 30 年度に他の A、B 棟と一緒に修繕を行いました。
- ・エコキュートの室外機を保護している囲いが破損しています。

施設の課題

- ・屋根からの落雪による外壁破損が目立つため、適切な除雪作業を入居者から行ってもらう必要があります。
- ・機械設備の修繕が確認されていることから、必要に応じて適切な対応を行わ

なければなりません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 建築、電気、機械設備といった部位別の修繕が発生した場合に適切な対応を行うように努めます。
- ・ 建物の設備等の機能を維持のために必要となる点検・調査、必要に応じて補修を行うように努めます。
- ・ 除雪作業など入居者自身に行ってもらわなければならないことについての指導や要請（口頭や文書等による周知）にも努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	外壁修繕工事	主に裏面の外壁修繕	500			500

3 1. 交流促進住宅

所在地	大蔵村大字清水 2346						
所管課	総務課						
施設類型	村営住宅						
延床面積（㎡）	158	構造	木造	建築年（年度）	H4	耐用年数（年）	22

施設の現状

- ・ 建築から 25 年が経過し、施設は老朽化しています。
- ・ 2 棟のうち 1 棟は平成 28 年 4 月から空き家の状態で、定期的に職員が点検を実施しています。

施設の課題

- ・ 空き家 1 棟は、居住している 1 棟に比べ、冬季間は屋根の雪が落雪しづらいことにより、雪害が起こらないよう定期的に点検をする必要があります。
- ・ 空き家 1 棟は、常時締め切った状況であるため、湿気などによる内部老朽化を防ぐため、定期的に換気をする必要があります。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 日常の維持管理などにより、安全性確保や施設機能の維持に努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

3 2. 赤松生涯学習センター

所在地	大蔵村大字赤松 689-1						
所管課	教育委員会						
施設類型	その他教育系施設						
延床面積 (㎡)	2,990	構造	RC 造	建築年 (年度)	H12	耐用年数 (年)	47

施設の現状

- ・平成 29 年度に旧校舎の耐震診断を実施した結果、「耐震性あり」と診断されました。
- ・合宿所として平成 28 年度に旅館業法による改修工事を実施しており、各種合宿等の利用が多い施設です。平成 30 年度の利用者数は延べ 5,799 人でした。（内、宿泊者数延べ 301 人）
- ・旧校舎、体育館については 40 年が経過しており、配管等の水漏れや体育館の屋根に破損が認められます。

施設の課題

- ・宿泊施設ではあるものの、宿泊部屋に冷房がないため、合宿利用が多い夏季の利用に支障が出ています。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、施設の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3	体育館屋根塗装工事	屋根の塗装、修繕	6,000			6,000
R3以降	空調設備工事	宿泊室、学習室等への冷房設置	12,000			12,000
R3以降	体育館照明交換工事	LED照明に交換	4,500			4,500

33. 沼台生涯学習センター

所在地	大蔵村大字南山 1447-1						
所管課	教育委員会						
施設類型	その他教育系施設						
延床面積（㎡）	785	構造	RC造	建築年（年度）	S51	耐用年数（年）	34

施設の現状

- ・施設としては体育館のみですが、沼の台保育所・沼の台防災センターが併設されています。
- ・体育館については、平成 25 年度に耐震補強工事を実施済みです。
- ・平成 30 年度の利用者数は延べ 2,821 人でした。

施設の課題

- ・豪雪地帯であるので、雪害による施設の破損が出ないように、定期的な除排雪作業が必要です。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、施設の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

3 4. 肘折生涯学習センター

所在地	大蔵村大字南山 2126-213						
所管課	教育委員会						
施設類型	その他教育系施設						
延床面積 (㎡)	865	構造	RC 造	建築年 (年度)	S53	耐用年数 (年)	34

施設の現状

- ・平成 29 年度の体育館の耐震補強工事に併せて照明器具の更新、屋根の修繕を実施しました。平成 30 年度には校舎棟を解体し、跡地に体育館と併設する形で肘折防災センターが建築されています。
- ・令和元年 6 月に発生した山形県沖の地震により、体育館ホール窓ガラス 5 枚に亀裂が入りました。

施設の課題

- ・豪雪地帯であるので、雪害による施設の破損が出ないように、定期的な除排雪作業が必要です。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、施設の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R2	窓ガラス修繕	ホール窓ガラスの交換	500			500

3 5. 中央公民館

所在地	大蔵村大字清水 2620						
所管課	教育委員会						
施設類型	集会施設						
延床面積 (㎡)	2,284	構造	SRC 造	建築年 (年度)	S54	耐用年数 (年)	50

施設の現状と課題

- ・ 村の生涯学習の中核を担っている施設です。平成 30 年度の利用者数は延べ 18,827 人でした。
- ・ 建築から 40 年が経過しており施設の老朽化が進んでいます。屋根の一部に錆が見られ、施設内の配管から水漏れが発生することがあります。
- ・ 施設の老朽化により改修・修繕を必要とする箇所が多くありますが、緊急な箇所を優先して実施している状況です。
- ・ 旧耐震基準下で建築されたため、耐震補強や役場庁舎の建替えに併せて複合化するなど検討が必要です。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 日常の保全及び定期点検や診断などにより、施設の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・ 建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R2	屋根塗装工事	屋根、集会室排煙窓の塗装	4,565			4,565
R2	キュービクル修繕工事	高圧気中開閉器の取替	550			550

36. 南山地区交流センター

所在地	大蔵村大字南山 64-5						
所管課	教育委員会						
施設類型	その他教育系施設						
延床面積 (㎡)	284	構造	木造	建築年 (年度)	H21	耐用年数 (年)	22

施設の現状

- ・ 建築から 10 年が経過している比較的新しい建物ですが、木製外壁のため、塗装の落ちや外壁が一部剥がれかけている箇所が認められます。
- ・ 旧南山小学校区での利用がほとんどのため、利用者数が少ない現状にあります。平成 30 年度の利用者数は、延べ 440 人でした。

施設の課題

- ・平屋建ての施設のため、冬季は屋根からの落雪がたまりやすく、雪害による施設の破損が出ないように、定期的な除排雪作業が必要です。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3以降	維持修繕工事	外壁塗装、修繕	1,000			1,000

37. 南山交流広場トイレ

所在地	大蔵村大字南山 1862-42						
所管課	教育委員会						
施設類型	その他教育系施設						
延床面積（㎡）	2	構造	木造モルタル	建築年（年度）	H24	耐用年数（年）	22

施設の現状

- ・特に破損等は見受けられません。
- ・南山交流広場の利用者による利用がほとんどです。
- ・管理については、南山親交会へ委託し、清掃等を実施しています。

施設の課題

- ・現状ではありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・日常の保全及び定期点検などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

38. 野球場管理棟

所在地	大蔵村大字清水 97-4						
所管課	教育委員会						
施設類型	体育施設						
延床面積（㎡）	69	構造	RC 造	建築年（年度）	S62	耐用年数（年）	50

施設の現状

- ・ 建築から 30 年以上が経過しているものの、管理棟としては特に破損箇所は見受けられませんが、大雨の際にグラウンド内の排水路から管理棟内に雨水が逆流することがあります。
- ・ 平成 30 年度の野球場利用状況は、利用日数 70 日、利用者数は延べ 2,800 人でした。

施設の課題

- ・ 管理棟は、グラウンドに比べて一段低く設置されており、換気設備がないため、湿気がこもりやすく、配電盤ボックス等が腐食しています。今後、電気系統への影響が懸念されます。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・ 建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	換気設備設置工事	換気扇の設置	100			100

39. 運動公園トイレ

所在地	大蔵村大字清水 97-4						
所管課	教育委員会						
施設類型	体育施設						
延床面積 (㎡)	15	構造	RC造	建築年 (年度)	S61	耐用年数 (年)	50

施設の現状

- ・ 建築から 30 年以上が経過しているものの、建物自体としては特に破損箇所は見受けられませんが、蛇口等の水回りについては、経年劣化により漏水等が発生するため随時修繕で対応しています。

施設の課題

- ・ 大便器について、男子トイレは 1 基、女子トイレは 2 基が和式であるため、洋式に改修して今後利用しやすい環境を整える必要があります。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 日常の保全及び定期点検や診断などにより、建物の安全性確保や施設機能の維持に努めます。
- ・ 建物の維持管理業務について効率化を図ります。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3以降	トイレ改修工事	洋式便器に交換	2,000			2,000
R3以降	屋根塗装工事	屋根の塗装	1,000			1,000

40. 除雪ステーション

所在地	大蔵村大字清水 1774-13						
所管課	地域整備課						
施設類型	その他						
延床面積 (㎡)	410	構造	S造	建築年 (年度)	H9	耐用年数 (年)	20

施設の現状

- ・除雪車の格納庫および除雪基地として利用しています。

施設の課題

- ・今現在、修繕をしなければならないということはありませんが、村道除雪を担う除雪車が格納される重要な場所でありますので、今後建物の長寿命化工事の検討が必要になると考えます。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・建築されて 20 年以上が経過していることから、長寿命化工事を視野に入れた検討を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	点検業務委託	建築、電気設備の点検	1,000			1,000

4 1. 稲沢渡し資料館

所在地	大蔵村大字清水 1774-3						
所管課	地域整備課						
施設類型	その他						
延床面積 (㎡)	49	構造	木造	建築年 (年度)	H8	耐用年数 (年)	22

施設の現状

- ・夏の花火大会で地区住民の方が利用する時以外は、無人の状態です。
- ・雪囲いの取り付けと取り外しは村職員で行っています。
- ・目立つような破損はありませんが、障子が破れています。

施設の課題

- ・花火大会の時以外に利用されることがありませんので、桜の木も植えられていることもあり、他に活用できるようなイベント等を検討していく必要があります。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・施設、設備、構造物等の機能の維持のために必要となる点検・調査、補修に

努めます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3 以降	点検業務委託	構造、設備の点検	500			500
R3 以降	内裝修繕	内装の張替え等	500			500

4 2. 診療所

所在地	大蔵村大字清水 2325-3						
所管課	大蔵村診療所						
施設類型	病院施設						
延床面積（㎡）	1,036	構造	RC 造	建築年（年度）	H3	耐用年数（年）	47

施設の現状

- ・平成 3 年に建築し、平成 8 年には増築を行い診療及び検査の充実を図っています。築 28 年が経過しています。
- ・平成 16 年には診療所玄関車寄せ部改修を実施して支柱の腐食を改善しています。
- ・平成 30 年には、電気高圧受電設備、自動火災受信機、電話設備の更新を行い設備関係の機能維持を図っています。

施設の課題

- ・築 28 年を経過していることから、給排水設備の維持についてはその都度対応しています。また、空調設備についても老朽化への対応が必要で、特に冷房設備については、部品の調達もできず修理ができないことから計画的に更新を行なっています。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・冷房暖房設備を計画的に更新し施設機能の維持に努めます。
- ・施設内の衛生状態を維持するために床ワックス剥離清掃及び冷房機器内清掃を定期的実施します。
- ・電気、給排水設備等については、緊急を要することから事前に予算を確保しその都度対応します。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
				国庫 支出金	地方債	一般 財源
R2	冷房設備更新工事	冷房機器の更新	4,300			4,300
R3	冷房設備更新工事	冷房機器の更新	4,500			4,500
R5	床清掃業務	床ワックス剥離清掃	600			600
R8	空調設備の清掃	冷房機器内清掃	480			480

4 3. 医師住宅 1・2 号棟

所在地	大蔵村大字清水 2325-4						
所管課	大蔵村診療所						
施設類型	病院施設						
延床面積 (㎡)	144×2 棟 =288	構造	木造	建築年 (年度)	H3	耐用年数 (年)	22

施設の現状

- ・平成 3 年に建築し、平成 14 年には増築を行い居住維持の充実を図っています。築 28 年が経過しています。
- ・平成 31 年には、第 1 号棟 2 階床傾きの修繕、同じく 1 号棟の給湯ボイラを更新しています。

施設の課題

- ・築 28 年を経過していることから、老朽化による給排水設備の維持が懸念されます。
- ・住宅の傾きや結露等について改善を求められています。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・築 30 年で住宅の調査点検を実施して改修計画を策定します。
- ・電気、給排水設備等については、緊急を要することから事前に予算を確保しその都度対応します。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
				国庫 支出金	地方債	一般 財源
R3	住宅調査点検事業	改修計画の策定	1,200			1,200

4 4 . 医師住宅 3 号棟

所在地	大蔵村大字清水 2551-1						
所管課	大蔵村診療所						
施設類型	病院施設						
延床面積 (㎡)	277	構造	木造	建築年 (年度)	H10	耐用年数 (年)	22

施設の現状

- ・平成 10 年に建築し、平成 23 年には外壁改修工事を行い住宅施設の改善を図っています。築 21 年が経過しています。

施設の課題

- ・築 21 年を経過していることから、老朽化による給排水設備の維持が懸念されます。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・築 30 年で住宅の調査点検を実施して改修計画を策定します。
- ・電気、給排水設備等については、緊急を要することから事前に予算を確保しその都度対応します。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
				国庫 支出金	地方債	一般 財源
R10	住宅調査点検事業	改修計画の策定	700			700

45. 肘折下水処理場（管理棟・処理棟）

所在地	大蔵村大字南山 451-3						
所管課	地域整備課						
施設類型	公共下水道						
延床面積 (㎡)	828	構造	RC造	建築年 (年度)	S58	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から 30 年以上が経過しており施設の老朽化が進んでいます。内壁および床面の一部にはひび割れが確認されており、一部外壁から雨水の浸透が見られます。

施設の課題

- ・ 内部設備（汚水ポンプ、汚泥脱水機等）の整備は定期的に行っていますが、そこにかかるコストが大きいため、建物については平成 22 年の耐震補強工事以降、補修工事等は行っていません。豪雪地帯のため、毎年 2 回の雪下ろしが必要であり、その費用も維持コストの上昇に影響しています。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 数年内に外壁の雨水浸透補修を行う予定です。毎年雪下ろし作業や内部設備の維持コストが大きいため、その他の修繕についてはその時ごとに軽微な応急修繕で対応していく予定です。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3	外壁補修工事	外壁の雨水浸透防止補修工事	5,000			5,000

46. 清水浄化センター

所在地	大蔵村大字合海 274						
所管課	地域整備課						
施設類型	公共下水道						
延床面積 (㎡)	659	構造	RC造	建築年 (年度)	H16	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から 15 年が経過し、外壁、基礎部分、搬出室等の床面コンクリートに軽微なひび割れが確認できます。管理棟以外の建物も同様の状態です。

施設の課題

- ・ 内部設備（汚水ポンプ、汚泥脱水機等）の整備は定期的に行っていますが、そこにかかるコストが大きいため、建物に関して補修工事等は行っていません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 内部設備の維持コストが大きいため、建物についてはその時ごとに軽微な応急修繕で対応していく予定です。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

4 7. 清水浄水場

所在地	大蔵村大字清水地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	204	構造	S 造	建築年 (年度)	H11	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から 20 年が経過しておりますが、外壁、内壁ともに亀裂等は確認できません。
- ・ 外部扉及び内部階段手すりに軽度の腐食が見られます。

施設の課題

- ・ 内部設備（急速ろ過、送水ポンプ等）の整備は定期的に行っていますが、そこにかかるコストが大きく、さらに冬季間には 2 回の雪下ろし作業が必要です。建物に関して補修工事等は行っていません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・内部設備の維持コストが大きいため、建物についてはその時ごとに軽微な応急修繕で対応していく予定です。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

48. 清水第2取水場（深井戸）

所在地	大蔵村大字清水地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積（㎡）	5	構造	RC造	建築年（年度）	H11	耐用年数（年）	38

施設の現状

- ・建築後 20 年が経過していますが、外壁、内部ともにひび割れ等は確認できません。一部内装のはがれがみられます。

施設の課題

- ・現状の状態を維持していけるよう管理を行います。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・目視による確認では構造物の劣化は見られませんでした。今後も定期的に点検を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

49. 清水第1配水池

所在地	大蔵村大字清水地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	3	構造	RC造	建築年 (年度)	S48	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から40年以上が経過しており、外壁に軽度のひび割れ、軒の一部に塗装のはがれが見られます。

施設の課題

- ・ 経過年数に対して劣化程度は小さく、緊急を要する補修の必要はありません。

今後10年間の管理に関する基本方針

- ・ 引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後10年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

50. 清水第2配水池

所在地	大蔵村大字清水地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	13	構造	RC造	建築年 (年度)	H11	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から20年が経過しており、管理棟内壁コンクリートに軽度のひびが確認できます。また、配水池外壁の一部に塗装のはがれが見られます。

施設の課題

- ・ 現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

5 1. 白須賀浄水場

所在地	大蔵村大字清水地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積（㎡）	23	構造	RC造	建築年（年度）	S49	耐用年数（年）	38

施設の現状

- ・建築から 40 年以上が経過しており、軒及び屋内天井の一部に塗装のはがれ、内部壁コンクリートに軽度のひび割れが見られます。

施設の課題

- ・送水ポンプ等の維持修繕にかかるコストが大きいため、建築当初から改修工事は行っていません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・内部設備の維持コストが大きいため、建物についてはその時ごとに軽微な応急修繕で対応していく予定です。また、将来的には建屋を増築し発電機の設置及び流量計の機能統合に向けて計画中です。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R4	白須賀浄水場機能拡張工事	発電機の設置と白須賀計量室との機能統合	10,000	3,000	6,900	100

5 2. 白須賀配水池（電気室）

所在地	大蔵村大字清水地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	4	構造	RC 造	建築年 (年度)	S49	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から 40 年以上が経過しており、軒や外壁の一部に塗装はがれは見られますが、コンクリートにひび割れ等は確認できません。

施設の課題

- ・ 現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

5 3. 白須賀計量室

所在地	大蔵村大字清水地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	1	構造	RC 造	建築年 (年度)	S49	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から 40 年以上が経過しており、過去に入り口扉回りのコンクリート壁の補修を行いました。その他の修復は行っておらず、内外壁にひび割れ等も確認できません。

施設の課題

- ・現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・将来的には白須賀浄水場に機能統合し、廃止を検討していますが、それまでは引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	51. 白須浄水場参照	白須浄水場と機能統合				

5 4. 升玉浄水場（電気・減菌室）

所在地	大蔵村大字赤松地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積（㎡）	30	構造	RC 造	建築年（年度）	S61	耐用年数（年）	38

施設の現状

- ・建築から 30 年以上が経過しており、内壁及び床面コンクリートに数箇所のひび割れが見られます。また、軒と天井の一部に塗装はがれが確認できます。冬季間に 2 回の除雪作業を行っています。

施設の課題

- ・ひび割れの箇所も多く、将来的に修繕工事を行う必要があります。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・数年内に内部コンクリート壁の補修工事を行う予定です。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
R3	内壁補修工事	ひび割れ箇所の補修工事	1,000			1,000

5 5. 升玉浄水場（新）

所在地	大蔵村大字赤松地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	33	構造	RC 造	建築年 (年度)	H25	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から 5 年が経過していますが、比較的新しい建物のため現状では損傷等は確認できません。また、冬期間に 2 回の除雪作業を行っています。

施設の課題

- ・ 現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

5 6. 升玉配水池（電気室）

所在地	大蔵村大字赤松地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	5	構造	RC 造	建築年 (年度)	S61	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から 30 年以上が経過しており、軒及び内部天井の一部に塗装のはがれが見られますが、構造的損傷箇所は確認できません。

施設の課題

- ・ 現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

57. 塩送水ポンプ場

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積（㎡）	25	構造	RC造	建築年（年度）	S61	耐用年数（年）	38

施設の現状

- ・建築から 30 年以上が経過しており、軒及び天井の一部に塗装のはがれ、内部床面コンクリートの軽度のひび割れが見られます。

施設の課題

- ・現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

58. 藤田沢配水池（電気室）

所在地	大蔵村大字清水地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	5	構造	RC造	建築年 (年度)	S62	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から 30 年以上が経過しており、外壁及び軒、内部天井の一部に塗装はがれが見られ、天井コンクリートにも軽度のひび割れが確認できます。

施設の課題

- ・ 現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

59. 肘折浄水場（減菌室）

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	8	構造	RC造	建築年 (年度)	S63	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から 30 年が経過しており、内壁コンクリートに軽度のひび割れ、天井の一部に塗装はがれが見られますが、構造的損傷箇所は確認できません。

施設の課題

- ・ 現在同敷地内に新浄水場を建築中ですが、完成後も引き続き一部機能を利用

し続けるため、引き続き維持管理の必要があります。豪雪地帯のため、毎年2回の除雪作業が必要です。

今後10年間の管理に関する基本方針

- ・引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後10年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

60. 肘折浄水場（新）

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積（㎡）	115	構造	S造	建築年（年度）	R2	耐用年数（年）	31

施設の現状

- ・建物自体は平成30年に完成していますが、電気機械設備及び配管部分は現在工事中です。令和2年度に全ての設備が完成し、稼動開始予定です。

施設の課題

- ・施設の維持管理に加え、豪雪地帯のため年2回の雪下ろし作業が必要です。

今後10年間の管理に関する基本方針

- ・完成後は定期的に点検を行い、適切な維持管理を行っていきます。

今後10年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

6 1. 肘折第 2 浄水場（薬注室）

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	17	構造	RC 造	建築年 (年度)	S58	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・現在は使用していません。
- ・内壁に数箇所の軽微なひび割れ、軒の一部に塗装のはがれが確認されます。
- ・冬季間の除雪、雪下ろし作業は行っていません。

施設の課題

- ・使用していない施設であるため、適切な維持管理を行う必要がありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・数年内の撤去に向け検討中です。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

6 2. 肘折第 2 配水池（電気室）

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	6	構造	RC 造	建築年 (年度)	S58	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・建築から 30 年以上が経過しており、内壁に数箇所の軽微なひび割れが見られます。

施設の課題

- ・現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

63. 肘折第3ポンプ場

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積（㎡）	14	構造	RC造	建築年（年度）	S44	耐用年数（年）	38

施設の現状

- ・現在は使用していません。
- ・外壁に軽微なひび割れ、屋根トタン部分に腐食による破損が見られます。
- ・冬季間の除雪、雪下ろし作業は行っていません。

施設の課題

- ・使用していない施設であるため、適切な維持管理を行う必要がありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・今後も使用する見込みはありませんが、維持管理経費は特に発生していないため、施設の存続について検討していきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

6 4. 肘折第 4 ポンプ場

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	12	構造	RC 造	建築年 (年度)	S51	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から 40 年以上が経過しており、外壁及び内壁コンクリートに軽微なひび割れが確認されます。
- ・ 冬季間は雪囲いのみで除雪、雪下ろしは行っていません。

施設の課題

- ・ 現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

6 5. 金山加圧ポンプ場

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	18	構造	RC 造	建築年 (年度)	H6	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・ 建築から 20 年以上が経過しており、内壁、天井及び床面コンクリートに軽度なひび割れが確認されます。
- ・ 冬季間に 2 回の除雪、雪下ろし作業を行っています。

施設の課題

- ・現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

66. 金山配水池（電気室）

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積（㎡）	7	構造	RC造	建築年（年度）	H6	耐用年数（年）	38

施設の現状

- ・建築から 20 年以上が経過していますが、目視による確認ではひび割れ等の損傷は確認できません。

施設の課題

- ・現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

67. 旧柳渚浄水場

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	5	構造	RC造	建築年 (年度)	S51	耐用年数 (年)	38

施設の現状

- ・現在は使用していません。
- ・軒及び内壁の一部に塗装のはがれが確認されます。
- ・冬季間の除雪、雪下ろし作業は行っていません。

施設の課題

- ・使用していない施設ですが、維持管理は必要です。

今後10年間の管理に関する基本方針

- ・引き続き定期的に点検を行いつつも、今後は廃止を検討していきます。

今後10年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

68. 柳渚配水池（電気室）

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	2	構造	ブロック造	建築年 (年度)	S51	耐用年数 (年)	34

施設の現状

- ・建築から40年以上が経過しており、天井部分コンクリートに軽微なひび割れが確認されます。

施設の課題

- ・現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

69. 豊牧水源ポンプ場

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積（㎡）	16	構造	RC造	建築年（年度）	S60	耐用年数（年）	38

施設の現状

- ・建築から 30 年以上が経過しており、屋根部分コンクリートに腐食による欠損が確認されます。
- ・冬季間は雪囲いのみで除雪、雪下ろし等は行っていません。

施設の課題

- ・内部ポンプの維持修繕にかかるコストが大きく、建物の補修工事等は行っていません。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・現在緊急な修繕が必要な箇所は見られず、内部設備の維持コストが大きいいため、建物についてはその時ごとに軽微な応急修繕で対応していく予定です。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

70. 四ヶ村浄水場（高区配水池）

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	104	構造	S 造	建築年 (年度)	H16	耐用年数 (年)	31

施設の現状

- ・ 建築から 15 年が経過し、外壁及び床面コンクリートに軽微なひび割れが見られます。
- ・ 冬季間に 2 回の除雪、雪下ろし作業を行っています。

施設の課題

- ・ 管理施設の中では比較的新しいもので、現状緊急を要する補修の必要性はありません。
- ・ 内部設備（膜ろ過装置）の定期的な洗浄作業が必要です。

今後 10 年間の管理に関する基本方針

- ・ 引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後 10 年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

71. 旧豊牧浄水場

所在地	大蔵村大字南山地内						
所管課	地域整備課						
施設類型	簡易水道						
延床面積 (㎡)	34	構造	S 造	建築年 (年度)	S60	耐用年数 (年)	31

施設の現状

- ・ 建築から 30 年以上が経過しており、内部鉄骨の腐食、床面コンクリートに軽度のひび割れが見られます。

- ・現在は機能のほとんどを四ヶ村浄水場に移し、一部機能のみを使用中です。
- ・冬季間に2回の除雪作業を行っています。

施設の課題

- ・現状では緊急を要する補修の必要性はありません。

今後10年間の管理に関する基本方針

- ・引き続き定期的に点検を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。

今後10年間に予定（希望）している実施計画

事業年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳（千円）		
				国庫支出金	地方債	一般財源
	現状は予定なし					

第③章 対策の優先順位の考え方

1. 優先順位の考え方の概要

個別施設計画対象施設



予防保全対象建築物選定基準による絞込み



公共 ROA^{※1}による予防保全対象建築物の選定、予防保全管理の実施



予防保全対象建築物以外の施設についての必要な対策（次回の点検・診断や修繕・更新、機能転換・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去、耐震化等）の検討

2. 予防保全対象建築物の選定

公共建築物には、施設用途や規模など多種多様なものがあります。その中から構造、規模、災害時の重要性に着目し、「予防保全の対象建築物」と「事後保全で対応する建築物」に分類します。

次の項目を予防保全計画対象建築物の選定基準と位置づけ、①かつ②、または③に該当する建築物を予防保全対象建築物の候補として抽出します。

①構造

建築物の主要構造が「鉄筋コンクリート（RC）造」、「鉄骨鉄筋コンクリート（SRC）造」及び「鉄骨（S）造」の建築物

②規模

延床面積が200㎡を超える建築物

③災害時の重要性

災害時において応急対策活動の拠点となる建築物

※¹ 総資産（施設規模）、コスト、利用率の3項目を用い、長寿命化すべき施設を設定する手法のこと
「公共 ROA のベンチマークデータ収集と、予防保全・建物長寿命化の施策による VFM の経済的効果分析（天神良久）」より

ただし、「今現在使用していない」または「倉庫等で人が常駐していない」施設については対象外とし、また、「カルデラ温泉館」に限っては「肘折いでゆ館」と指定管理施設として一体管理されているため対象としました。

結果、公共建築物 71 施設うち 19 施設は、上記の予防保全対象建築物選定基準により予防保全の対象候補として抽出し、予防保全型維持保全を行います。

施設名	延床面積 (㎡)	構造 (代表)	建築 年度	施設類型(中)
役場庁舎	1,653	RC造	S37	庁舎等
役場第2庁舎	403	S造	S45	庁舎等
役場第3庁舎	227	RC造	S48	庁舎等
肘折防災センター	487	RC+S造	R1	消防施設
大蔵村保育所	865	SRC造	S58	児童福祉施設
大蔵村児童館	297	SRC造	S59	児童福祉施設
沼の台保育所・沼の台防災センター	482	S造	H25	児童福祉施設
肘折保育所	363	SRC造	S60	児童福祉施設
ふるさと味来館	1,299	S造	H8	産業系施設
カルデラ温泉館	473	木造	H5	産業系施設
肘折いでゆ館	2,590	RC造	H9	産業系施設
ノルディック館	457	S造	H4	産業系施設
農産物加工施設	876	S造	H29	産業系施設
赤松生涯学習センター	2,990	RC造	H12	その他教育系施設
沼台生涯学習センター	785	RC造	S51	その他教育系施設
肘折生涯学習センター	865	RC造	S53	その他教育系施設
中央公民館	2,284	SRC造	S54	集会施設
診療所	1,036	RC造	H3	病院施設
肘折下水処理場(管理棟・処理棟)	828	SRC造	S58	公共下水道

また、小規模な建築物や付随的な用途である倉庫等の建築物については、従来行ってきた事後保全により適切に維持保全を行います。

第④章 公共施設マネジメントに向けた取り組み

1. 財政側面からのマネジメント

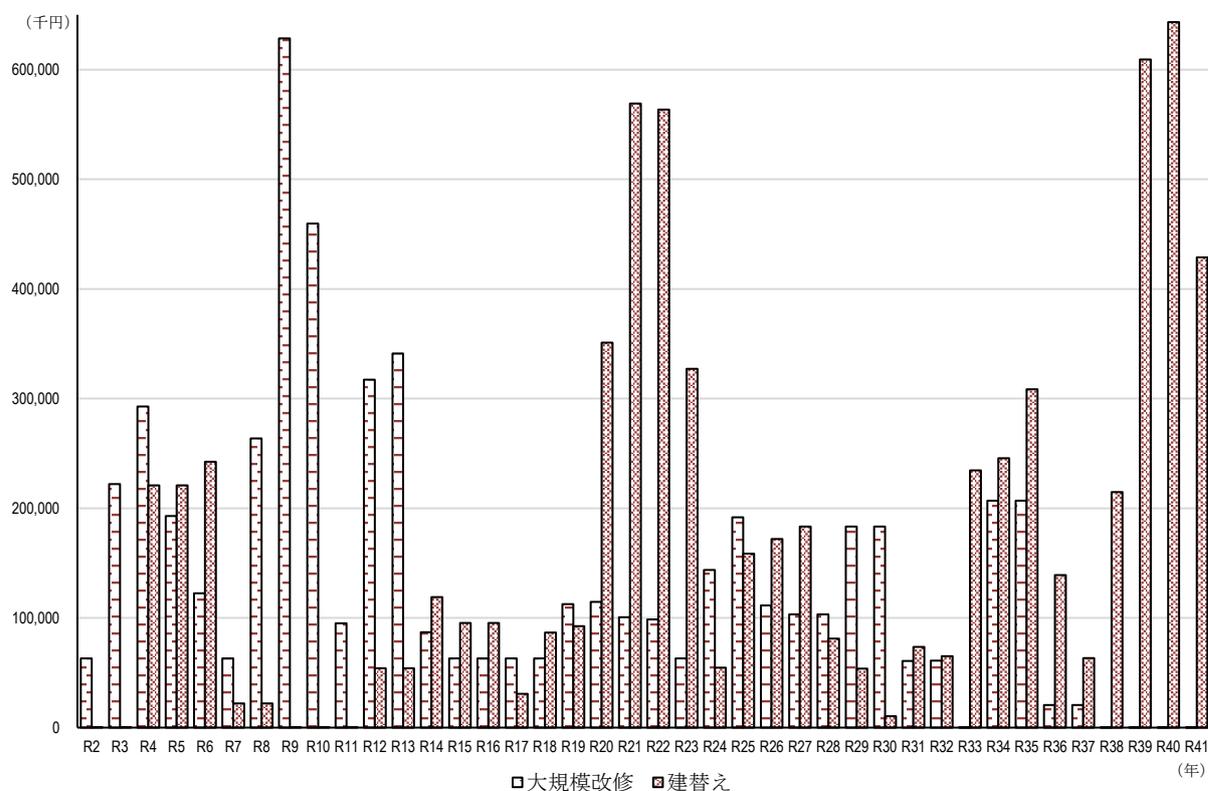
1) 対策費用の算定

「今後新たな建築は行わない」「現状の施設（建物）を保有し続ける」ことを前提とし、本計画期間内（令和2年度から令和11年度までの10年間）に必要なとされる更新費用を試算すると※²、約31.3億円と見込まれます。

表1 今後10年間に必要とされる更新費用

	(千円)									
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
大規模改修	63,257	222,132	292,687	192,937	122,382	63,257	263,657	628,407	459,757	95,007
建替え	400	400	220,800	220,800	242,400	22,000	22,000	400	400	400
計	63,657	222,532	513,487	413,737	364,782	85,257	285,657	628,807	460,157	95,407

グラフ1 今後40年間に必要とされる更新費用



※² 公共施設更新費用試算ソフト(一般財団法人地域総合整備財団)より試算

2) 対策費用の低減、平準化に向けた取り組み

公共施設の維持管理・更新等に係るコストを縮減し、中長期的に予算を平準化していくためには、

- ・改修工事を実施し、構造体の劣化進行を遅らせる
- ・施設の構造体、仕上げ、設備等の経年劣化に対応した改修を行う
- ・建築、電気、機械設備等の部位別に適切な対応を行っていく
- ・施設の定期点検を実施し、各施設の状況を早期かつ的確に把握する
- ・保全計画を策定する

などを実施して施設の長寿命化を図り、大規模な修繕や更新をできるだけ回避することが重要であると考えられています^{※3}。

今後は、施設の状態（劣化・損傷の状況や要因等）の他、施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等を考慮の上、「事後保全型維持管理」から、損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで施設機能の保持・回復を図る「予防保全型維持管理」への移行を推進していきます。

2. 取り組み・実施体制

1) 全庁的な推進・取組体制

①社会構造の変化や新たなニーズへの対応

平成 27 年には 3,412 人^{※4}であった大蔵村の人口は、国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計^{※5}によれば、令和 22（平成 52）年には 1,813 人まで減少することが予測されています。

また、年少人口（15 歳未満の人口）と生産年齢人口（15 歳～65 歳未満の人口）の割合は、平成 27 年にはそれぞれ 12.2%、53.5%であったのが、令和 27（平成 57）年には 7.4%、41.8%に減少する一方で、老年人口（65 歳以上の人口）については、平成 27 年には 34.3%であったのが令和 27（平成 57）年には 50.8%にまで増加することが予測されています。

このような人口減少、少子高齢化等の進展が見込まれる中で、公共施設に求められる役割や機能も当然変化していくと考えられ、施設の維持管理・更新にあたっては、その時点で各施設が果たしている役割や機能を的確に把握した上で、その施設の必要性自体を再検討することとします。

※3 「インフラ長寿命化基本計画（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議）」より

※4 平成 27 年国勢調査より

※5 日本の地域別将来人口推計（平成 30 年度推計）

結果、施設の必要性が認められる場合には、改修や更新のタイミングで施設に求められる役割や機能の変化に応じた質的向上や機能転換、用途変更や複合化・集約化を図ります。一方で、施設の必要性が認められない場合には、廃止・撤去を進めることとします。

②取組体制

各施設の点検や維持管理等はこれまでと同様に各所管課で行いますが、今後は以下のことを検討していきます。

- ・各所管課から施設に関する情報を収集し、共有や調整を図り、施設のあり方を総合的に検討するため、各課職員で構成する検討委員会の設置

2) フォローアップの実施方針

計画の進捗状況や社会情勢の変化なども踏まえ、計画期間内であっても必要に応じて計画を更新し、計画的な点検・診断、修繕・更新等の取り組みを実施していきます。

3) 施設利用者や村民との情報共有・合意形成

施設の適正配置等の検討にあたっては、議会や村民に対し随時情報提供を行い、村全体で共有化を図ります。

大蔵村 個別施設計画

令和 2 年 3 月発行

大蔵村総務課

〒996 - 0212

山形県最上郡大蔵村大字清水 2528

TEL : 0233-75-2111